

## ウレオール フローア-用

〈ウレオール フローア-用〉はウレタン樹脂を主成分とした木質床材用の代表的な高級塗料です。1液型で、ポットライフ、混合比など取り扱い上の不便さはありませんので木部透明仕上げにはウレオールF又はウレオールMのご使用をおすすめします。



### ● ウレオール F7750ワニス

油変性ウレタン樹脂クリアー

室内塗装に無制限に使える  
「F☆☆☆☆」マーク認定

#### 特長

1. すぐれた塗装作業性と乾燥性
2. すぐれた平滑性と優雅な光沢、木質感
3. すぐれたノンスリップ性

### ● ウレオール Mクリアー

湿気硬化型ウレタン樹脂クリアー

#### 特長

1. すぐれた耐久性と耐摩耗性
2. すぐれた耐薬品性と耐溶剤性
3. すぐれたノンスリップ性
4. 経済性

### ● ウレオール M37クリアー

湿気硬化型ウレタン樹脂クリアー

室内塗装に無制限に使える  
「F☆☆☆☆」マーク認定

#### 特長

1. すぐれた耐久性と耐摩耗性
2. すぐれた耐薬品性と耐溶剤性
3. すぐれたノンスリップ性
4. TXフリー

## 塗装性状並びに用途

		F7750ワニス	Mクリヤー	M37クリヤー
乾燥時間 (20℃)	指触乾燥	15分	30分	30分
	硬化乾燥	1時間	2時間30分	2時間
塗付量		0.10~0.12ℓ/m <sup>2</sup> /回	150~200g/m <sup>2</sup> /回	150~200g/m <sup>2</sup> /回
色		クリヤー	クリヤー	クリヤー
労安法による有害物表示		キシレン10~20%	キシレン50~60%	酢酸ブチル20~30% 酢酸エチル20~30%
有機溶剤中毒予防規則による品名		第二種有機溶剤等	第二種有機溶剤等	第二種有機溶剤等
消防法による危険物品名		第二石油類	第二石油類	第一石油類
該当シンナー		合成樹脂704シンナー 又は塗料用シンナー	合成樹脂730シンナー	ウレオールM37シンナー
荷 姿		16L・4L	16kg	16kg

## 試験結果

項 目	試験方法	成 績		
		F7750ワニス	Mクリヤー	M37クリヤー
耐アルカリ性	10%水酸化ナトリウム溶液 20℃24時間	○	◎	◎
耐酸性	10%塩酸 20℃24時間	◎	◎	◎
	2%酢酸 20℃24時間	△	◎	◎
耐アルコール性	50%エタノール液 20℃6時間	○	○	○
耐摩耗性	テーバー式 100回摩耗減量 mg 300回摩耗減量 mg	8	6	6
		30	20	20
耐衝撃性	JIS K 5600-5-36 (デュボン式)	合格	合格	合格
耐薬品性	ガラス板にバーコーター#60で塗付後5日放置してスポットテストにより実施。			
耐摩耗性	耐衝撃性 鋼板にバーコーター#60で塗付後5日放置した試験片を用いた。			

## 塗装方法

ローラー、はけ、ラムウールアプリーケーター

## ●ウレオール F 7750ワニスによる床塗装

1. 塗る面の汚れ、油気、ワックスなどを中性洗剤でよく洗い、拭き取り、充分乾いてから塗ってください。
2. そのまま塗れますが、粘くて塗りにくいときは塗料用シンナーでうすめてください。
3. 1回目は薄く塗ります。約15分で触っても手につかなくなります。そのまま2時間程おいて2回目を塗ってください。
4. 2回塗りの前に軽くサンドペーパー（＃240）をかけ、掃除して塗りますと一段と平滑に仕上がります。
5. 塗り面積は2回塗りの場合1ℓで約6.6㎡です。

## ●ウレオール M クリアーによる床塗装仕様

工 程	処 理 法	塗 付 量 (g/m <sup>2</sup> )	塗 装 間 隔 (時間)
1	素地調整	水分、油分、塵埃、古い塗膜などを除去する。	—
2	素地研磨	＃40～＃120サンドペーパーで1～3回研磨する。	—
3	素地固め	ウレオールMクリアー 100 合成樹脂730シンナー 10～20	16以上
4	研 磨	サンドペーパー（＃180～＃240）により、毛羽、塵埃を取る程度に全面空研ぎする。	—
5	中塗り	ウレオールMクリアー 100 合成樹脂730シンナー 0～10	2～4
6	上塗り	ウレオールMクリアー 100 合成樹脂730シンナー 0～10	150～200

施工例 1日目:素地調整、素地固め。 除 塵 研磨後のサンダー粉は掃除機などで取除く。

2日目:研磨、中塗り、上塗り。

(注)ウレオールMクリアーの開缶後は出来るだけ早く使用してください。なお、使用後の半端品は密栓して湿気の少ない冷暗所に保存してください。

## ●ウレオール M37 クリアーによる床塗装仕様

工 程	処 理 法	塗 付 量 (g/m <sup>2</sup> )	塗 装 間 隔 (時間)
1	素地調整	水分、油分、塵埃、古い塗膜などを除去する。	—
2	素地研磨	＃40～＃120サンドペーパーで1～3回研磨する。	—
3	素地固め	ウレオールM37クリアー 100 ウレオールM37シンナー 10～20	16以上
4	研 磨	サンドペーパー（＃180～＃240）により、毛羽、塵埃を取る程度に全面空研ぎする。	—
5	中塗り	ウレオールM37クリアー 100 ウレオールM37シンナー 0～10	2～4
6	上塗り	ウレオールM37クリアー 100 ウレオールM37シンナー 0～10	150～200

施工例 1日目:素地調整、素地固め。 除 塵 研磨後のサンダー粉は掃除機などで取除く。

2日目:研磨、中塗り、上塗り。

(注)ウレオールM37クリアーの開缶後は出来るだけ早く使用してください。なお、使用後の半端品は密栓して湿気の少ない冷暗所に保存してください。